

## 笠間市出身「サンシャイン」がお笑いライブ

皆さんは笠間市出身のお笑い芸人がいるのをご存知ですか？5月22日、お笑いコンビ「サンシャイン」らが出演するお笑いライブが、ポレポレで行われました。

「サンシャイン」は、笠間市出身の金沢善幸さんと横浜市出身の中臣陵さんが結成しているお笑いコンビです。

金沢さんに話を伺うと「目標は、お笑いで1人でも多くの人に幸せになってもらうこと、そのために万人うけするネタを考えています」とのこと。この日も万人うけするネタで会場を笑いの渦に巻き込んでいました。



「茨城を笑いで元気に」という趣旨でポレポレが開催しました

## 避難所で奉仕・慰問活動

赤十字月間中の5月29日、笠間市赤十字奉仕団友部分団が、福島県郡山市の避難所となっている「ピックパレットふくしま」で奉仕・慰問活動を行いました。

当日は約1,000名の避難所の方に少しでも元気が戻るよう「バルーンアート」や「ハーモニカ演奏」「チョコバナナの屋台」等の活動を行いました。

限られた時間の中ではありましたが、予定より長く時間をいただいで活動することができ、避難所の方たちに笑顔をお届けすることができました。



ピックパレットふくしまでの活動の様子

## 環境チケット贈呈式

笠間地区で平成16年6月から7年間続けられてきた環境チケット運動が今年3月で終了し、5月18日、笠間小学校で環境チケット贈呈式が行われました。この運動は、レジ袋削減運動推進委員会（委員長 大久保悦子さん）が「買い物という日常生活の中で、レジ袋を削減し、環境にやさしい行動を実践し、環境への負担の少ない地域社会づくりに取り組みながら、子どもたちの育成や社会福祉に役立てる」ことを目的に実施してきたものです。委員会のメンバーは「大量のレジ袋の削減ができた。また、レジ袋有料化へのスムーズな移行にもつながった。」とこの運動の成果を振り返っていました。



レジ袋削減運動推進委員会メンバーと  
鈴木笠間小学校長、小田部笠間小学校PTA会長

## LOVE BOWL 元気なうつわがデキルコト

「LOVE BOWL」は、陶芸のデキルコトで「世界の飢餓や災害に苦しむ子どもたちに希望を届けたい」という思いから始まった、作家の器によるチャリティ交流展です。

今回は、廃食器からエコ粘土をつくるという、自分たちでデキルECO活動にも取り組んでいます。また、売上の10%を災害支援活動に役立てます。

東京や横浜で展示販売が行われたのをはじめ、笠間工芸の丘では7月24日まで開催されています。



作家の思いが込められたメッセージを見つめる来場者

## まちづくり穴戸塾が観光事業 功労者賞を受賞

5月30日、茨城県観光物産協会通常総会で、観光事業功労者への表彰式が行なわれ、まちづくり穴戸塾（会長 高野光徳さん）が表彰を受けました。

まちづくり穴戸塾は平成12年に設立され、現在の会員は約1,500名。観光・広報委員会、歴史・文化委員会、環境委員会、ホテルの里委員会に分かれて、北山公園桜まつりの企画運営や清掃美化活動、旧江戸道の整備、穴戸ふるさとカルタの作成など、幅広い活動を行っています。



写真左：高野さん

## ベビーカーを震災被災地支援として無償提供いただきました

大阪市内にあるカナダチャリオット社の日本総代理店「プレゼント」から、同社のベビーカーを東日本大震災による被災地で子育て中の方のために役立ててほしいとの申し出があり、笠間市が中心となり県央地域の9市町村に希望者を募集しました。

笠間市では、週報やホームページで希望者を募り、54名の方の応募がありました。抽選の結果27名の方が当選し5月22日に贈呈式を行い、引渡しを行いました。



贈呈式参加者で記念写真



## 猟友会笠間支部の大須賀 正弘さんが表彰を受けました

このほど、大須賀正弘さん（下郷）が社団法人大日本猟友会から、鳥獣保護および農林水産業の振興に寄与し、狩猟の社会的地位の向上に貢献したことにより表彰を受けました。

大須賀さんは茨城県猟友会笠間支部長として、野生鳥獣の保護や有害鳥獣の駆除などに取り組んでいます。受賞おめでとうございます。



左から猟友会笠間支部の村上さん、大須賀さん、山口市長、坂上さん

## 茨城中央農業協同組合 栗部会が知事賞を受賞

5月31日、いばらき園芸振興賞の表彰式が行われ、茨城中央農業協同組合栗部会が生産振興部門で最優秀賞を受賞しました。

この賞は消費者ニーズに合った商品を生産するための品質向上運動、新たな産地づくりや生産組織体制の整備などにおいて顕著な業績があった団体に贈られるものです。

従来から取り組んでいる品種別出荷を生かし、甘みを追求した貯蔵栗や焼き栗など高付加価値商品の開発や販売促進活動などを通じて独自の産地認知度向上活動を実践したことが評価されました。



中央：金子部会長、右：川上代表理事組合長